

大阪ラブソディ(海原しおり、さおり)

あのひとこの人も そぞろ歩くよ宵の街
どこへ行く二人づれ 御堂筋は恋の道
映画をみましょか それともこのまま
道頓堀まで 歩きましょうか
七色のネオンさえ 甘い夢を唄ってる
宵闇の大阪は 二人づれ恋の街
～間奏～

昨日よりまた今日は 別れづらくなりそうよ
恵寿橋法善寺 どこも好きよ二人なら
嬉しいはずでもあなたといるとき
なぜだかこの胸 痛んでくるの
店あかり懐かしく
甘い夜を呼んでいる
宵闇の大阪は二人づれ恋の街
～間奏～

覚えておきます ちいさなことまで
あなたとすごした 大事な夜は
七色のネオンさえ甘い夢を唄ってる
宵闇の大阪は
二人づれ恋の街

王将(前奏)(村田英雄)

拭けば飛ぶよな 将棋の駒に
賭けた命を笑わば笑え
生れ浪花の八百矢橋
月も知ってる おいらの意気地

間奏

あの手この手の思案を胸に
やぶれ長屋で今年も暮れた
愚痴も言わずに 女房の小春
つくる笑顔が いじらしい

間奏

明日は東京に出ていくからは
なにがなんでも勝たねばならぬ
空に灯がつく 通天閣に
おれの闘志が また燃える

居酒屋(五木ひろし・木の実なな)

(男) もしもきらいでなかつたら
何か一杯のんでくれ

(女) そうね
ダブルのバーボンを
遠慮しないで いただくわ

(男) 名前聞くほど
野暮じゃない
まして 身の上話など

(女) そうよ
たまたま 居酒屋で
横に座っただけのもの

(二人) 絵もない 花もない 歌もない
飾る言葉も、洒落もない
そんな 居酒屋で

間奏

(男) 外へでたなら 雨だろう
さっき小雨がパラついた
(女) いいわ やむまで ここにいて
一人グイグイ飲んでるわ
(男) それじゃ朝までつき合うか
悪い女と知り合った
(女) 別にきにすることはない
あなたさっさと帰ってよ
(二人) 絵もない 花もない 歌もない
飾る言葉も洒落もない
そんな居酒屋で

天城越え(石川さゆり)

隠し切れない移り香が
いつしかあなたに浸みついた
誰かに盗られるくらいなら
あなたを殺していいですか

寝乱れ 隠れ宿
つづら折り 浄蓮の滝

舞い上がり 揺れ堕ちる
肩ののむこうにあなた。。。
山が燃える

何があってももういいの
くらくら燃える火をくぐり
あなたと越えたい
天城越え

間奏

口を開けば別れると
刺さったまんまの割れガラス
ふたりに居たって寒いけど
嘘でも抱かれりゃあたたかい
わさび沢 隠れ径
小夜は雨 寒天橋

恨んでも 恨んでも
躰うらはらあなた。。。 山が燃える
戻れなくてももういいの
くらくら燃える地を這って
あなたと越えたい 天城越え

津軽海峡:冬景色(石川さゆり)

上野発の夜行列車降りたときから 青森駅は雪の中
北へ帰る人の群れ誰も無口で 海鳴りだけを聞いている
私はひとり連絡船に乗り 凍えそうな鷗見つめ泣いていました
ああ 津軽海峡・冬景色

ごらんあれが竜飛岬 北のはずれと 見知らぬ人が指をさす
息がくもる窓のガラス ふいてみたけど
はるかにかすみ 見えるだけ
さよならあなた 私は帰ります
風の音が胸をゆする 泣けとばかりに
ああ 津軽海峡・冬景色

